

令和三年度 修士論文・卒業研究題目一覧

歴史文化専攻

豊臣政権「五大老」制について

——宇喜多秀家を中心に—— 中川 創喜

近世後期尾張藩政における地域社会実態と中間層

——「立入人」の性格から見る広域支配の実態——

前田 蒼太

博士論文

中上健次作品論

——秋幸サーガ から見る『父殺し』と天皇制批判——

佐藤 綾佳

卒業研究

修士論文

稲垣ゼミナール

江戸川乱歩の理想と現実

——時代的背景と作品の変遷—— 一柳 はるの

存在の不確かさと中島敦

——考える「病」について—— 伊豫田 芙羽

『美しい村』に見る自然美

——写実主義的観点からの読み方—— 内海 光太郎

江戸川乱歩が抱く「鏡」に対する根源的恐怖

川合 純平

日本文学・日本語文化専攻

テクストを読むことと「私」

——普遍性と個別性の往還—— 阿知波 光

八代集におけるコロケーションの研究

——CHJを用いた和歌研究—— 加藤 駿

吉本ばなな論

——眠りから始まる回復プロセス——久保史

有明淑の日記から「女生徒」へ

——「虚飾」の精神を中心に——倉田 漣

安吾幻想文学における恐ろしい女と「ふるさと」

——「桜の森の満開の下」・『夜長姫と耳男』を中心に——酒向 菜月

藤沢周平と武士道

——藤沢の戦争体験からみる——牧内実杜

日本の国語教育と近現代文学のかかわりについて

——『少年の日の思い出』から見ると——森 瑠哉

教育としての近代文学

太宰治『御伽草紙』論

——『瘤取り』『カチカチ山』からみる——船場 大智

反因果応報の意識

大池ゼミナール

物語における語り手の目

——視座・視点についての考察——古木章仁

鳥書とその作品について

中学校国語科書写教育の必要性について

筒井美帆

勝亦ゼミナール

七夕歌の霧の表現

——『万葉集』から『古今和歌集』『後撰和歌集』『拾遺和歌集』——岡原唯乃

『狭衣物語』における飛鳥井女君の役割について

奥田千裕

清少納言がみた中宮定子

——『枕草子』日記的章段から——小池一曙

紫の上と光源氏の関係

——明石の君・朝顔の姫君・玉鬘との比較から——近藤颯馬

『日本霊異記』における狐と中国文化の影響

白川紗帆

夕霧の『源氏物語』内での役割

新海隆裕

『枕草子』の定子像について

——清少納言と定子の関係の変化から——

鈴木 沙奈

古典の学習における『源氏物語』

——学習の現状と今後の指導の在り方——

溝口 紗生

平安時代文学における赤と紅

——『枕草子』『源氏物語』『紫式部日記』から——

三輪 沙也香

『百人一首』における「君がため」論

——光孝天皇・藤原義孝をめぐる——

森川 真里奈

『枕草子』における天候

——雨と雪について——

山口 紗有里

甘露ゼミナール

三島由紀夫「邯鄲」の解釈とリメイク案

丸山 朱里

三島由紀夫「熊野」の解釈とリメイク案

伊藤 美南

ブロックチェーン技術を利用した電子書籍の二次流通の

可能性及び資産化に関する考察 梅田 晃平

『近代能楽集』「班女」表現のしかけと効果の考察

加藤 雪乃

三島由紀夫「道成寺」の解釈とリメイク案

——ニヤティティ弾きのシャクヤクと鐘の女ピオニー——

小泉 大地

三秋縋『三日間の幸福』の解釈とリメイク案

小島 えみり

樋口一葉の恋愛観

——少女時代を中心に—— 酒井 千尋

openの聖書翻訳語としての「天狗」についての考察

佐藤 春花

掲示板「ちるちる」から見た近年のBL作品特性と

傾向 志村 綾香

三島由紀夫「葵上」解釈とリメイク案 鈴木 奏子

「葵上」における対比とその効果

—— 現代版リメイクに繋がる表現について考える ——

椿井美名

日韓ドラマポスターのデザインについて

成瀬笑里

—— 「冬のソナタ」を中心に ——

—— 一般文芸の装丁についての考察 ——

長谷川 茉奈

「怖い絵本」の傾向について

—— 京極夏彦『いるのいないの』を中心に ——

平林 亜実

三島由紀夫「卒塔婆小町」の解釈とリメイク案

丸山 ひとみ

後藤ゼミナール

現代の若者のネットスラング「ぴえん」の変遷

黒澤 かれん

現代怪談「きさらぎ駅」の成り立ちと広がり

笹木 梨穂

若者ことばの変遷

—— SNSとの関連 ——

方言のアクセサリー化をめぐる研究 鈴木 菜絵

現代日本映画のシナリオにおける謝罪表現の分析 素保 花成

日本語における男女差とその変遷について 田中 香音

—— 大正から令和まで ——

坂道グループから見る秋元康の作詞の特徴 出口 真奈実

「敬語の指針」が敬語教育に与えた影響について 鳥居 建志

「大丈夫」の新用法「勧誘に対する拒否」について 野崎 茉那

語種を異にする類義語についての研究 平山 咲月妃

明治から昭和にかけてのスポーツに関する外来語の 福田 航

使用実態とその機能 松見 董

J-POPの歌詞における差異化の進行 玉田 瑞萌

—— 1991～2020年 ——

小説と漫画のオノマトペの異同について

——PSYCHO-PASS シリーズをもとに——

寺前 希紀

円滑な二次創作のためのガイドライン 神谷 風花
キッズニアを利用した保護者及び児童に対する

自衛隊の新しい広報戦略提案 永野 睦月

プロ野球における「個人ファンクラブ」の需要と

有用性について

——アフターコロナに向けた提案—— 西野 隼矢

冥界の生活——その仕事を中心に—— 持城 百花

徳竹ゼミナール

小説『鎧と鳥』企画書

西門 沙貴

御伽草子における鼠の二面性とその表現

安原 ふみ菜

『平家物語』と『太平記』にみる武士の死の様の変容

吉田 茉央

平塚ゼミナール

人工知能による方言歌詞の感情解析と各地域の特徴

浜田 祐菜

中川ゼミナール

サービスとしてのデジタルアーカイブ 水野 智基

LGBTと公立図書館の動向 宮下 真唯子

M1グランプリにおけるツカミの種類 梅田 雄平

おじさん構文から分かる年代による好感を持てる
文章の違い 石井 七瀬

日本人韓国語学習者の実態

西嶋ゼミナール

「アンノウンジェンダー」ヒーローの可能性

——主人公選択可能ゲームにおける、性別、

——教室学習と独学学習の比較—— 二之湯 奈々香

石川県鹿島郡中能登町方言の談話資料 野村 海翔

否定的な言葉の肯定的な用法について 野村 真子

容姿選択の考察—— 伊藤 彰悟

徳島方言辞書・テキスト 藤本 周

三重県松阪市方言の世代差

松浦 亜実

「Twitter」から見る形容詞の意味の変化と多様な使われ方

森 さくら

日本企業の新卒採用におけるキャッチコピーの

特性について

三浦 彩乃

バーチャルYouTube[®]が用いるキャラ語尾に見る

表現特性

石川 晴崇

福井ゼミナール

和歌における三途の川

岩井 智哉

地の文のない文章の表現特徴

—— アイドル育成ゲーム「あんさんぶるスターズ！」を例に ——

伊藤 扶佐子

「山」のイメージの変遷

—— 平安時代を中心に ——

清水 美帆

YouTube 動画タイトルおよびテロップの文体特徴

—— 語種・品詞に着目して ——

岩 崎 光 希

「因果応報」の日中比較

—— 「罪」と「罰」のイメージ ——

甚 佐 知 花

ベストセラー書籍タイトルの傾向と変遷

「軽率」の新用法について

木 下 夏 菜 子

仏教説話における蛇イメージの変容

源氏物語における夢

—— その役割を中心に ——

高 木 瞭

児童小説の会話部分における「メタ言語表現」考察

—— 「都会のトム&ソーヤ」を例として ——

角 谷 優 奈

宮内ゼミナール

「メタ発言」の使用状況調査

水 野 允 道

YOASOBIの歌詞に見る表現特性

「交ぜ書き語」の使用実態調査

千 田 拓 実

美容雑誌におけるオノマトペの特徴と年代差

加 藤 璃 於

ことわざの定義分類と「新参ことわざ辞典」の作成

田 代 隆 紋

ネット発アーティストの歌詞特性

—— テーマ分析と語彙調査 ——

中村 遥香

「(さ)せていただく」の使用実態

長谷川 未来

機能的な頭字語の用いられ方について

細井 隆希

外来語サ変動詞「カバーする」の調査分析

松口 翔悟

「かわいい」の意味分析と派生語について

鰐部 朱理

宮澤ゼミナール

eスポーツにおける実況の実態とその効果について

石田 龍矢

「LINE」における笑いの表現について

入船 智美

人間関係が与える「LINE」コミュニケーション上の

観点への影響

奥原 樹

『転生したらスライムだった件』の小説とアニメの比較

奥村 周平

テレビ局の編集とYouTuberの編集の比較に基づく

YouTubeにおけるテロップの分析 片桐 涼香

RADWIMPSの歌詞による印象調査とレトリック分析

草野 有輝

現代漫才における「ツッコミ」の類型分析

倉地 史樹

「LINE」における「分かち書き」の使用状況と使用意図について

近藤 健

収録型謝罪動画の構成と視聴者の印象

鈴木 明日香

人間関係の維持を前提とした依頼の「断り」における

表現の分析

鈴木 彩音

時間制限の有無によるスポーツ実況の特徴と相違点

玉村 厚太

雑談における話題の展開的構造

友田 夏帆

3時のヒロインの漫才・コントの分析

山田 奈美

柳沢ゼミナール

『伽婢子』原話考察

—— 『剪灯新話』と比較して ——

後藤 詩奈

『耳なし芳一』の成立経緯について

—— 『臥遊奇談』を中心に ——

佐藤 友香

『都風俗化粧伝』と浮世絵に見る江戸時代後期の化粧

末廣 葵

小川ゼミナール

近世における刊本「かな絵入り往生要集」の展開

『夢応の鯉魚』考

— 中国小説を踏まえて —

寺崎 愛華

— 閻魔王の変容と出版戦略を中心に —

伊藤 妃捺

遊女の心中について

— 近松門左衛門の心中物を中心に —

久松 亜未

— 家畜から家族の一員になるまで —

遠藤 寛子

『四谷雑談集』と『東海道四谷怪談』の考察

— お岩と伊右衛門の比較から — 平澤 辰真

江戸時代における女性の「育家」論

— 石門心学と『安産幸運録』 — 古市 侑美佳

謡曲の鬼女の違い

— 霊・蛇・鬼が選択された理由 —

藤原 由衣

— 見聞録から見る「宝物」 — 堀 裕梨奈

映画の比較から見る日本人にとっての「忠臣蔵」

森田 文二

— 庭訓から探る義直の思想と義直像の変遷 —

森川 夏水乃

『三人吉三廓初買』における通客文里恩愛漸の意味

辻元 すみれ

お蔭参りと出版メディア

山際 夏苗

小山六之助『活地獄』における監獄の思想

吉野 真里奈

菅原道真像の変遷を探る

— 怨霊から学問の神へ — 柘植 結佳

小早川ゼミナール

山車祭り継承への取り組みと課題

— 愛知県内の事例を中心に —

草 紀之

ダルマをめぐる民俗

— 富士市のダルマ市から —

坂 入 菜 央

愛知県の子ども獅子について

— 名古屋市・川原神社祭礼を中心に —

坂 岡 まな絵

結婚式と結婚観の変化

— 名古屋市の事例を中心に —

佐 藤 優 衣

庶民生活におけるパン食の広がり

— 岐阜・愛知を中心に —

杉 山 恵 未

小垣江のオマントの現状と継承

— 馬と人との関わりから —

鈴 木 公 貴

「名古屋めし」の成立と現状

四日市の定期市をめぐる民俗と現状

山の神信仰と「山の講」

— 岐阜県中濃地域を中心に —

福 手 智 範

現代民俗としての家相

吉 永 利 子

白根ゼミナール

江戸市中の治安対策と火附盗賊改

— 『御仕置例類集』の分析を中心に —

上 田 涉 夢

近世武家社会における切腹と殉死の構造

— 尾張藩家臣を中心に —

岩 瀬 夏 海

戎講の廻船経営と内海船

— 前野小平治家を中心に —

岩 橋 良 典

幕藩間交渉における大奥の政治力

— 姉小路を中心に —

永 田 優 杏

尾張藩における弓術奨励と武家社会

歌川国芳の武者絵にみる江戸の妖怪観

江戸における名所観と歌川広重

— 『名所江戸百景』を中心に —

松 本 風 香

中元ゼミナール

宮崎滔天の理想と中国革命

— 中国・ソ連観を中心に —

伊 里 嶺

軍令部次長時代の嶋田繁太郎

岡 本 将 慶

憲政会における外交論

— 加藤高明と党人派の相違点を中心に —

木村 優翼

農商工業高等会議と工場法の制定

— 会議参加者の発言を中心に — 坂崎 嘉一

西園寺公望の教育行政とその評価 鈴木 裕也

司法省をめぐる人事と構造

— 江藤新平司法卿期から大木喬任司法卿期を

中心に — 高見 綾音

東条英機の航空思想

— メディア戦略と精神論を踏まえて —

中山 文乃

小川平吉のソ連観と青天会 長澤 彩名

太平洋戦争期における食糧難と食生活 畠 中 拓未

明治期における邦楽と西洋音楽

— 東京音楽学校の演奏会曲目とカリキュラム

改正の分析 — 林 美季穂

太平洋戦争前後における教育現場の変容

— 教育内容と教員の心理的变化を中心に —

宮崎 裕也

『中部日本新聞』の誕生

— 『名古屋新聞』と『新愛知』の統合過程を中心に —

百崎 博貴

大平正芳と宏池会の動向

— 一般消費税の導入構想と挫折 —

安井 香帆

第十五回衆議院議員選挙における高橋是清と立憲政友会

山中 綾将

衣ヶ原飛行場の建設と拳母の発展

板垣征四郎の中国観

白川 彩華

播磨ゼミナール

織田政権の大和支配

戦国期徳川家康の外交関係

— 織田信長・武田信玄・上杉謙信との関係を

中心に —

瀬戸口 豊士

小澤 唯

後北条氏伝馬制度について

高市 真希

女官制度の再編と女房の出現契機

上原 涼星

大友宗麟キリスト教政策の実態について

中崎 彩音

奈良時代の火葬と靈魂観についての考察

大月 愛未

船田合戦をめぐる土岐・斎藤氏と周辺勢力の関係

豊臣政権と豊臣一族

源頼朝の信仰と都市鎌倉

佐藤 秀真

——天正十年～天正十六年において——

細田 真史

前斎宮の恋愛に対する禁忌意識と政治的思惑

長江 柚香

天正二十年聚楽第行幸の意義

——天正十六年聚楽第行幸と比較して——

真鍋 将宗

——『栄花物語』当子内親王密通記事の検討を中心に——

林 優衣

豊臣秀吉の刀剣贈答の意義

浅井氏支配下における菅浦の自治

——永禄二一年の誓約状の検討を中心に——

三浦 詩織

武烈天皇の暴虐記事と継体天皇即位の背景

阪野 岳史

城下町の変遷

——蒲生氏郷の城を中心に——

安田 温士

草薙剣とヤマトタケル像の変遷

平井 雄大

村岡ゼミナル

石見国一宮の物部神社に伝わる鎮魂法から見る、

猿女氏と物部氏のつながり

宇佐見 駿

——永正期斯波義達を中心に——

森 久士

『源氏物語』宇治十帖における橋姫

——宇治の三姉妹と橋姫伝承の残映——

山崎 鈴果

『天橋立図』を生み出した丹後半島神仏の世界
——密教僧智海の足跡を追って—— 山 中 辰之佑